

日本心理劇学会 研修委員会主催

# 第32回心理劇研修会

● 日 時 令和7年1月13日 (祝・月)9:30～15:30 ※計5時間の研修

● 会 場 共立女子大学 神田一橋キャンパス 2号館 8階  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-1

## < アクセス >

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線「神保町」駅A8番出口から徒歩1分  
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線「九段下」駅6番出口から徒歩5分  
東京メトロ東西線「竹橋」駅1b出口から徒歩3分

➤ 研修1) 「道徳教育とロールプレイ  
—道徳科授業における役割演技の実際を中心に—  
講 師 早川 裕隆 先生 (上越教育大学大学院教授)

➤ 研修2) 「サイコドラマ with ロール分析」  
講 師 高橋 美紀先生 (S&Cサイコドラマ・ラボ)

➤ 研修3) 「関係発展の心理劇  
—その実践・技法・理論を学ぶ—  
講 師 吉川晴美 先生 (東京家政学院大学名誉教授)

● 参加費 会員5000円、非会員7000円、学生2000円 (当日払い)  
恐れ入りますが、お釣りがいらぬようにご用意いただけましたら幸いです。  
※日本心理劇学会第30回大会参加費とは別であることにご注意ください。

● 申込方法 下記の いずれかの方法にてお申込みください。  
各研修コースとも定員15名です。原則、先着順で調整いたします。

① 日本心理劇学会ホームページ「研修会」申込フォームからご入力ください。

<https://forms.gle/evL7HA2hMzDy3mRW6>

② QRコードからの入力も可能です。 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



● 研修参考図書(各研修共通)  
『心理劇入門 理論と実践から学ぶ』  
日本心理劇学会監修 慶應義塾大学出版会 定価 2400円+税

## 【 注意事項 】

- ◆ 参加者による録音・録画等はお断りします。  
研修記録は研修委員会の責任において録音(録画)し保管させていただきます。
- ◆ 研修会全課程参加者には、研修修了証を発行します。
- ◆ 臨床心理士資格ポイント(2ポイント)になります。
- ◆ 日本心理劇学会員方は、認定ディレクター資格申請のための体験ポイント(2ポイント)となります。
- ◆ 当日の連絡先は参加申込後にお送りします。

<問い合わせ先> 日本心理劇学会 研修委員会

E-mail: [sinrigeki.kensyuu@gmail.com](mailto:sinrigeki.kensyuu@gmail.com)

▶ 講師 早川 裕隆 先生

「道徳教育とロールプレイ ―道徳科授業における役割演技の実際を中心に―」

昭和33年の学習指導要領で特設された「道徳の時間」は、小学校では平成30年度から、中学校ではその翌年から、「特別の教科 道徳」(道徳科)として教科化されました。その際、「質の高い多様な指導方法」の一つとして上げられ、どの発行社の道徳科の教科書でも必ず取り扱われるようになった「道徳的行為に関する体験的な学習」としての役割演技は、昭和33年に「劇化」として登場して以降、それまでなかった高い関心がにわかに寄せられました。しかし、ネットの世界で、熱狂の中でデマが横行するように、ある種の道徳ブームが収まるなかで、拡散された役割演技に対する不十分、不確かな理解や誤解、「デマ」に起因した憂慮される状況が残されてしまいました。

正しく用いれば、道徳的価値の理解や生き方に関する考えを深める有効な方法である「役割演技」について、その効果や意味・意義などについて実感的に理解していただき、そこで起きている構造を語り合い、解き明かしながら、授業を充実させるより確かな指導力として活用できるように「獲得」して欲しいと願っています。

▶ 講師 高橋 美紀先生

「サイコドラマ with ロール分析」

J.L.Morenoはロールを「別の人物やものが含まれる特別な状況に対して、個人が反応するある特別な瞬間に、その個人が引き受ける振舞い方」として定義しました。

このロールについての考察はオーストラリア・ニュージーランドサイコドラマ協会(Australian and New Zealand Psychodrama Association)の創始者で初代会長であったG.Max Clayton に引き継がれ、システム論的ロールセオリーとして完成されました。

筆者はMaxに教わったロールセオリーに基づいてサイコドラマを実践しています。

今回このプログラムは2部構成で行います。前半部ではサイコドラマを体験していただき、後半部では行われたドラマをもとにディレクターがどのように主役のロールを判断し、ドラマを構成したのかをロールの説明と共に解説し、参加者の皆様とディスカッションをしたいと考えています。

人の振る舞い方を理解する方法であるロールセオリーはディレクターを目指す方にも、また他の技法で人と関わっている方にも様々なヒントを与えてくれることでしょう。

▶ 講師 吉川 晴美 先生

「関係発展の心理劇 ―その実践・技法・理論を学ぶ―」

心理劇は集団で行われる役割演技によるアクションメソッドであることに特色があります。

本研修では、特に心理劇における「関係発展の技法」を中心に体験し、実践と理論とも結び付けて学びます。

松村康平は関係構造分析から心理劇のタイプを「①自己―関係心理劇(例;主演者中心の心理劇)②人―関係心理劇(例;グループ中心の心理劇)③もの―関係心理劇(例:課題解決の心理劇)④状況―関係心理劇(例:関係状況療法)⑤核心心理劇(例:価値心理劇)」と分類しています。「関係発展の心理劇」は④のタイプに対応し、その特色は他の四つのタイプの心理劇の独自性を踏まえ、共通に成立する状況性を基盤に理論・技法・実践を展開するものと捉えられます。

以上を踏まえて研修では、「関係発展の技法」を中心に、ウォーミングアップ、問題解決の心理劇等、また⑤の「価値心理劇」も行ってみたいです。本研修の体験が今後の実践や研究に活かされていただければ幸いです。